

平成29年度 由布市立阿南小学校 授業改善計画

《1. 授業改善テーマ》
子どもたちが、スムーズにつながった見通しと課題を踏まえて、自分なりの考えを持つことができ、それぞれの考えを交流することができる授業の構築。



《2. 授業改善の重点》
「つながりのある見通しと課題」と「子どもたちの考えの交流」を各学年の実態に応じて工夫する。



《3. 取組内容》
① 子ども実態に即した「つながりのある見通しと課題」を工夫する。
② 子ども実態に即した「子どもたちの考えの交流」を工夫する。

【4月～5月】 <目指す授業イメージと検証イメージの共通理解>

《4. 取組指標①》
子どもたちが、考えるべきことを明確にとらえることができる「つながりのある見通しと課題」を工夫する。

《4. 取組指標②》
子どもたちが、たとえ思考の中であっても、それぞれの考えを出すことができ、お互いの考えをつなげて考えることができる「考えの交流」を工夫する。



《5. 検証指標①》
○見通しと課題をうけて、全ての子どもが自分なりの考えを持つことができる。
○ 学期途中、学期末の子どもの実態調査によって把握・検証



《5. 検証指標②》
○全ての子どもが、「考えの交流」の場で自分なりの考えを出すことができる。
○ 学期末アンケートで、全ての子どもが「授業がよく分かる」と回答する。
○ 学期途中、学期末の子どもの実態調査によって把握・検証

- * 各学級担任において、日々の授業実践をとおして、子どもの実態に即しながら、上記内容の具体的なイメージを確立していく
→ 校内研究の時間での協議等をとおして

【6月～8月】<授業実践の積み上げ、1学期の検証・分析・留意点等の共通理解>

- * 各学級における授業実践の積み上げ
→ 管理職による授業観察・協議をとおして、「授業観察強化月間」の取組をとおして
→ 校内研究に計画に基づいた「互見授業」による協議をとおして
- * 各学級における単元毎の実践の検証の保存、校内研究の時間での協議
- * 1学期末の実態調査及び各学級で保存してきた検証の集約・分析
検証指標への到達（接近）状況の明確化、2学期へ向けた留意点等の共通理解

【9月～12月】<授業研究の積み上げ、2学期の検証・分析・留意点等の共通理解>

- * 各学級における授業実践・研究の積み上げ
→ 管理職による授業観察・協議をとおして、「授業観察強化月間」の取組をとおして
→ 学力向上支援教員等による授業訪問・観察・指導をとおして
→ 校内提案授業の実施・研究協議
- * 各学級における単元毎の実践の検証の保存、校内研究の時間での協議
- * 2学期末の実態調査及び各学級で保存してきた検証の集約・分析
検証指標への到達（接近）状況の明確化、3学期へ向けた留意点等の共通理解

【1月～3月】<年間の実践の検証・分析、次年度計画案の作成>

- * 各学級における授業実践・研究の積み上げ
- * 3学期末の実態調査及び各学級で保存してきた検証の集約・分析
年間をとおした検証指標への到達状況の明確化、次年度に取り組むべき課題の明確化